

●平成29年度公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会事業計画

1 目 的

寄附者 故竹歳磐彦氏の意志を汲み設立した当法人定款第4条第1号に規定する北栄町出身の学生にして、工業高等専門学校若しくは大学又は大学院に就学する者のうち、向学心旺盛にして、成績優秀、品行方正、身体強健でありながら、家庭事情等の理由により勉学を継続することが困難な者、及びこの奨学金を受ければなお一層学力の向上が期待される者に対し奨学金を給付し、もって有用な人材の育成、教育水準の向上、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

2 事業内容

(1) 対象者

次のいずれの要件にも該当する者で、理事会が審査決定する1名

①北栄町出身者で工業高等専門学校・大学・大学院に就学する者

②向学心旺盛で成績優秀でありながら家庭事情等により勉学を継続することが困難な者

(2) 奨学金の額

1人当たり 年1回 70,000円

3 具体的な活動

(1) 募集時期

平成29年11月から平成30年2月

(2) 募集周知方法

- ・町報「北栄」掲載
- ・町ホームページ掲載
- ・町内放送による周知
- ・地域ケーブルテレビの文字放送による周知

(3) 募集期限

平成30年2月20日（予定）

(4) 審査理事会

平成30年3中旬

(5) 給付決定周知及び奨学金給付

平成30年3月下旬

●平成29年度会議

1 監査会

平成29年4月 平成28年度収支決算状況監査

2 評議員会

平成29年5月 平成28年度事業報告及び収支決算の審議・承認
任期満了に伴う評議員、理事及び監事の選任

3 理事会

平成29年4月 平成28年度事業報告及び収支決算の報告

平成29年5月 理事長、常務理事の互選

平成30年3月 平成29年度奨学金給付者の選定審査

平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）の決定

正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,775	925	0	3,700
配当金収益	2,775	925	0	3,700
② 雑収益	75	25	0	100
雑収益	75	25	0	100
③ 一般正味財産からの振替額	68,000	0	0	68,000
受取寄付金	68,000	0	0	68,000
経常収益計	70,850	950	0	71,800
(2) 経常費用				
① 事業費	70,000	0	0	70,000
奨学金	70,000	0	0	70,000
② 管理費	0	1,800	0	1,800
旅費	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0
手数料	0	1,800	0	1,800
経常費用計	70,000	1,800	0	71,800
当期経常増減計	850	△ 850	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	850	△ 850	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	-	0
一般正味財産期末残高	850	△ 850	-	0
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 68,000	0		△ 68,000
当期指定正味財産増減額	△ 68,000	0	0	△ 68,000
指定正味財産期首残高	7,796,172	2,598,725	-	10,394,897
指定正味財産期末残高	7,728,172	2,598,725	-	10,326,897
III 正味財産期末残高	7,729,022	2,597,875	-	10,326,897

(法人移行関係情報)

・財産運用益の配分については移行認定申請書、毎年度の事業報告に明記した方法に従うこととなる。

※現在の数字は、事業費:管理費割合(75:25)で按分

・配分方法は、事業構造の変化等の事情が無い限り、変更は認められない。

平成29年度公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会収入支出予算について

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成29年度	平成28年度	増減	説明
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	3,700	5,000	△ 1,300	
配当金収益	3,700	5,000	△ 1,300	基本財産利息
② 雑収益	100	100	0	
雑収益	100	100	0	運用会計利息
③ 一般正味財産からの振替額	68,000	16,232	51,768	
受取寄付金	68,000	16,232	51,768	寄付金振替
経常収益計	71,800	21,332	50,468	
(2) 経常費用				
① 事業費	70,000	70,000	0	
奨学金	70,000	70,000	0	奨学生1名募集
② 管理費	1,800	3,800	△ 2,000	
旅費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
手数料	1,800	3,800	△ 2,000	登記・証明手数料
経常費用計	71,800	73,800	△ 2,000	
当期経常増減計	0	△ 52,468	52,468	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 52,468	52,468	収支差引
一般正味財産期首残高	0	52,468	△ 52,468	前年度繰越金
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 68,000	△ 16,232	△ 51,768	
当期指定正味財産増減額	△ 68,000	△ 16,232	△ 51,768	
指定正味財産期首残高	10,394,897	10,409,018	△ 14,121	
指定正味財産期末残高	10,326,897	10,392,786	△ 65,889	
III 正味財産期末残高	10,326,897	10,392,786	△ 65,889	

財務諸表に対する注記

- 1 継続事業の前提に関する注記
該当無し

2 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
①満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
②満期保有目的の債券以外の有価証券・・・該当無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の保有無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
減価償却対象資産の保有なし
- (4) 引当金の計上基準
引当金の計上無し
- (5) リース取引の処理方法
リース取引無し
- (6) 消費税等の会計処理
税込方式による。

- 3 会計方針の変更
該当無し

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	409,018	0	14,121	394,897
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	10,409,018	0	14,121	10,394,897
特定資産				
無し	—	—	—	—
小計	—	—	—	—
合計	10,409,018	0	14,121	10,394,897

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	394,897	0	0	0
定期預金	10,000,000	0	0	0
小計	10,394,897	0	0	0
特定資産	0			
無し	—	—	—	—
小計	—	—	—	—
合計	10,394,897	0	0	0

- 6 担保に供している資産
該当無し

- 7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）
該当無し

8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した残高のみを記載した場合）

該当無し

9 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当無し

10 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当無し

11 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当無し

12 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

14,121 円

13 関係当事者との取引の内容

該当無し

14 重要な後発事象

該当無し

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

2 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金預金	現金 現金手許有高 普通預金 鳥取銀行大 栄支店	事業運転資金	0
①流動資産合計				0
(固定資産)				
基本財産	定期預金	鳥取銀行大栄支店	運用益を公益目的事業、管理費の財 源として使用(竹歳磐彦氏寄附)	10,000,000
			(共用財産) うち公益目的保有財産	7,500,000
			うち公益目的事業に必要な収益事業等その他 の業務又は活動の用に供する財産	2,500,000
②基本財産合計				10,000,000
特定資産	定期預金	鳥取銀行大栄支店	寄附者の指定した使途に従い、奨学給付 事業に使用する資金(竹歳誠氏寄附)	394,897
③特定資産合計				394,897
④固定資産合計(②+③)				10,394,897
⑤資 産 合 計(①+④)				10,394,897
(流動負債)				
流動負債				0
⑥流動負債合計				0
⑦固定負債合計				0
⑧負債合計(⑥+⑦)				0
正味財産(⑤+⑧)				10,394,897